新たな繁殖農家対策



自民党の提案によって、

現行事業の様々な要件は撤廃・簡素化されました。 しかし、新制度ではわが党が主張した「再生産可能な水準まで の支援」にはなっていません。

新制度には、こんな問題点が!

A町で年間10頭生産するAさん 全国平均36.5万円の場合(平成21年度第3四半期)

現行制度(肉用子牛資質向上緊急支援事業)

40万円の牛5頭 = 0円

30万円の牛5頭 = 5万×5頭 = 25万円

25万円支給されていましたが、



新しい制度

個別の価格にかかわらず、

一律で発動基準38万円と全国平均36.5万円の差額の3/4なので、

(38万 - 36.5万)×3/4×10頭 = 11.25万円

11.25万円しか支給されません!

頑張る農家を応援する自民党にお任せ下さい!!

新たな肥育農家対策

自民党の提案により、マルキン事業と補完マルキン事業が 一本化され、しくみが簡素化されました。 しかし、わが党の農家負担の軽減策は通らず、逆に負担 増となりました。

新制度の問題点!

- 1 これまでは、地域の実情に合わせて対応してきましたが、 全国一律の補てん単価では、生産コストの高い地域(宮崎 や鹿児島)などでは十分な補てんが難しくなります。
- 2 一本化されたことにより、これまで負担のなかった 補完マルキン分の生産者の負担が増加します。
- 3 さらには、一頭あたり17,000円交付されていた「ステップアップ奨励金」は廃止されました。

自民党は制度の更なる改善に向け全力をつくします!



